

令和 3 年度

コミュニティ生活圏形成事業
報告書

令和 4 年 3 月

秋田県

目次

1. 事業の概要	1
(1) 目的、事業紹介	1
(2) モデル自治体・地区一覧	1
(3) 業務展開とスケジュール	2
(4) 業務体制	2
2. モデル自治体・地区での取組	2
(1) 北秋田市・大阿仁地区	4
① 取組内容と実施スケジュール	4
② 人口分析・推計（北秋田市全体）	5
③ 人口分析・推計（北秋田市内全地区）	11
④ モデル地区（北秋田市大阿仁地区）の概要	16
⑤ 人口分析・推計（北秋田市大阿仁地区）	18
⑥ ワークショップ（1回目）（人口安定化ワークショップ）	23
⑦ ワークショップ（2回目）（地元天気図ワークショップ）	27
⑧ 北秋田市報告会の開催概要	31
⑨ まとめ（成果と委託機関による方向性の提示）	33
(2) 小坂町・川上地区	35
① 取組内容と実施スケジュール	35
② 人口分析・推計（小坂町全体）	36
③ 人口分析・推計（小坂町内全地区）	41
④ モデル地区（小坂町川上地区）の概要	45
⑤ 人口分析・推計（小坂町川上地区）	47
⑥ ワークショップ（1回目）（人口安定化ワークショップ）	52
⑦ ワークショップ（2回目）（地元天気図ワークショップ）	57
⑧ 小坂町報告会の開催概要	61
⑨ まとめ（成果と委託機関による方向性の提示）	63
(3) 八峰町・岩館地区	65
① 取組内容と実施スケジュール	65
② 人口分析・推計（八峰町全体）	66
③ 人口分析・推計（八峰町内全地区）	71
④ モデル地区（八峰町岩館地区）の概要	76
⑤ 人口分析・推計（八峰町岩館地区）	78
⑥ ワークショップ（1回目）（人口安定化ワークショップ）	83
⑦ ワークショップ（2回目）（地元天気図ワークショップ）	87

⑧ 八峰町報告会の開催概要.....	91
⑨ まとめ（成果と委託機関による方向性の提示）	93
3. 全県報告会の概要.....	95
(1) 目的	95
(2) 開催概要.....	95
(3) 内容紹介.....	96
4. 全体のまとめと今後に向けた政策提言.....	99
(1) 成果	99
① 各自治体における地区別人口の現状、予測、安定化シナリオの解明	99
② 地区住民参加によるワークショップを通じての今後の取組方向の明確化	99
③ 市町報告会等を通じての今後の取組モデルの提示	99
(2) 今後求められる進化（政策提言）	100
① 法人設立が重要な地域発展の条件	100
② 未来形の地域づくりの始動へ～循環型社会を展望して	102
参考資料 将来人口の推計手法について	103
(1) コーホート要因法とコーホート変化率法の違いについて	103
(2) 将来人口推計の計算イメージ	104
(3) 推計エリアとシミュレーション内容	105
(4) 人口分析・将来人口の推計に使用したデータ	106
(5) 補正が必要なエリアと補正方法について	106
(6) 将来人口推計のフローチャート	108
(7) 人口安定化の条件と定住増加組数について	109
(8) 推計結果シートの構成	110

1. 事業の概要

(1) 目的、事業紹介

秋田県では、人口減少や少子高齢化が急速に進行している中で、自治会や町内会、集落における日常生活に必要なサービス機能を維持・確保していくため、複数の自治会等による新たな生活圏である「コミュニティ生活圏」の形成を図る取組を令和元年度から本格的に実施している。令和元年度は5市町、翌令和2年度には6市町で実施し、今年度は新たに3市町でモデル地区を選定し、地区別の人口診断と今後の定住増加に向けての取組検討を中心に、次のようなスケジュールで事業を実施した。

- ①コミュニティ生活圏単位で現状分析・将来人口予測の実施
- ②モデル地区における現地調査・ヒアリングの実施
- ③将来人口予測結果を示しながら、具体的な目標策定に向けた地区住民とのワークショップを2回開催
- ④市町ごとの報告会および県全体の報告会の開催

(2) モデル自治体・地区一覧

本年度のモデル自治体・地区は以下のとおりである。

表 モデル地区の基礎データの一覧（2021年12月当時）

市町 地区	項目	人口(人)	世帯数(戸)	高齢化率(%)	自治会・町内会の数
北秋田市 大阿仁地区		793	406	58.9	8
小坂町 川上地区		417	185	57.3	4
八峰町 岩館地区		680	309	52.6	3

(3) 業務展開とスケジュール

業務展開とスケジュールは以下に示したとおりである。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 2021 年 4 月 | 始動会議 |
| 2. 2021 年 5 ～ 7 月・2022 年 2 月 | 人口分析・推計 |
| 3. 2021 年 7 月 | 現地調査・ヒアリング |
| 4. 2021 年 10～11 月 | ワークショップ（1 回目） |
| 5. 2021 年 7 ～ 11 月 | 地元関係図作成 |
| 6. 2021 年 11～12 月 | ワークショップ（2 回目） |
| 7. 2022 年 1 ・ 3 月 | 市町報告会 |
| 8. 2022 年 3 月 | 全県報告会 |
| 9. 2022 年 1 ～ 3 月 | 成果の取りまとめ、報告書の編集 |

(4) 業務体制

本年度は、以下のような体制により、県・市町・地区そして委託機関が相互に連携をとり、事業を展開した。

実施主体 担当部課	秋田県 あきた未来創造部 地域づくり推進課
モデル自治体 担当部課	北秋田市 市民生活部 生活課 小坂町 総務課 八峰町 企画財政課
委託機関	一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩 理事 森山 慶久 研究マネージャー 田中 宏美 研究マネージャー 山下 知子 特別研究員 野口 拓郎 特別研究員 高橋 正也

2. モデル自治体・地区での取組

3つのモデル地区での取組の主な担当者、実施内容、スケジュールについて大まかに説明する。モデル地区は北秋田市大阿仁地区、小坂町川上地区、八峰町岩館地区である。モデル地区での各種取組は北秋田市と八峰町を委託機関である一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩氏が、小坂町を同研究所特別研究員の野口拓郎氏が担当した。モデル地区では基本的に人口分析・推計、現地調査・ヒアリング、ワークショップ（1 回目）、ワークショップ（2 回目）、市町報告会というスケジュールで取組を行った。

人口分析・推計は住民基本台帳や国勢調査の人口データを基に人口動態に関わるコーホート分析、人口予測推計、人口の安定化に向けた推計等を自治体単位、モデル地区単位（全地区単位）で行った。現地調査・ヒアリングでは市役所および町役場の担当者や地区住民の代表から地区の概要、住民活動等の取組内容を把握し、その後現地調査を行った。ワークショップ（１回目）では地域の人口安定化ワークショップとして地区の年代別人口増減の要因を探り、人口安定化に必要な取組や目標を設定した。ワークショップ（２回目）では30代女性が定住するとしたらというテーマで天気図ワークショップを行った。これは前半を課題編として地域の強みを高気圧、弱みを低気圧、組織や団体の関係性が強ければ温暖前線、弱ければ寒冷前線で表現し、後半の解決編では弱みを補うための検討や移住促進、将来はこういう地域にしたいという思いを具体的に描くものである。こうした取組内容を周知するため各市町全域を対象とした市町報告会を開催し、参加住民の代表者に発表いただいた。モデル地区に関わる実施スケジュールを一覧にしたのが下表である。次頁より取組内容についてモデル地区ごとに詳細を記載する。

表 モデル地区における実施スケジュール

日にち	対象地	実施内容
2021年7月8日	八峰町	現地調査・ヒアリング
2021年7月9日	北秋田市	
2021年7月16日	小坂町	
2021年10月20日	八峰町	ワークショップ(1回目)
2021年10月30日	北秋田市	
2021年11月6日	小坂町	
2021年11月27日	北秋田市	ワークショップ(2回目)
2021年12月1日	八峰町	
2021年12月5日	小坂町	
2022年1月15日	小坂町	報告会
2022年3月6日	八峰町	
2022年3月6日	北秋田市	